

議 事 録

会議名称	令和2年度 第1回 固定資産評価審査委員会
日時及び場所	令和2年10月22日(木) 14:00 ～ 15:15
出席者	固定資産評価審査委員会：委員3名（委員長、委員2名）事務局1名 税務課長 評価補助員2名（税務課員）
内容	定例会（前期）
<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>【委員長】 本年は新型コロナウイルス感染症により、税務においても既に多々の影響があったと思いますが、コロナ禍の終息が見えない中、今後も更なる影響が懸念されます。そのような状況ではありますが、本年度の評価状況、令和3年度評価替にあたり作業状況等の説明をお願いします。</p> <p>【税務課長】 委員長の話にもありましたが、コロナ禍による確定申告期限の延長に始まり、国民健康保険税の減免など様々な影響がありました。令和3年度固定資産税では中小企業支援としての減免も講じられました。過去に経験のない早急な税制対策が必要とされる中、評価替に向けて、また、適正な課税事務を進めなければなりません。本日は、忌憚のないご意見をいただきますようお願いします。</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 委員長の選任について</p> <p>【事務局】 委員長の任期は1年間とされています。 つきましては、今後1年間の委員長を改めて選任していただきたい。 (委員全員で協議)</p> <p>【事務局】 協議の結果、木村委員が次期委員長に選任されました。1年間よろしくをお願いします。</p> <p>(2) 令和2年度固定資産評価状況について</p> <p>【評価補助員】 土地について令和元年度と令和2年度の地目別筆数、評価地積、評価額、平均価格の増減内容を説明。田畑は農地転用、耕作放棄により毎年減少傾向にあります。宅地は住宅用地の造成や地籍調査結果による面積更正により増。雑種地は太陽光発電用地への転用等により増。全体として評価額は1.21%の増でした。</p> <p>【評価補助員】 家屋について令和元年度と令和2年度の木造、非木造別床面積、評価額の増減内容を説明。滅失による床面積の減少、木造39棟、非木造7棟の新築による評価額の増。全体として木造の評価額は2.34%の増、非木造の評価額は1.93%の増でした。 償却資産について令和元年度と令和2年度の増減内容を説明。町長決定分の課税標準額は減価償却により1.78%の減。JR等の他市町村にまたがる物件は総務大臣配分として3.43%の増。合計は0.06%の増でした。</p> <p>(3) 令和2年度固定資産税の申し出等による修正状況について</p> <p>【評価補助員】 第2期にて課税修正を6件。内1件は平成27年度に遡り修正。事由は、賦課期日時点における現況地目の修正4件、家屋滅失1件及び償却資産の修正申告によるもの1件です。 また、納税義務者の死亡が判明したため、相続人を特定するまでの間、課税を保留したものが1件、逆に相続人が特定できたものについて課税したものが1件ありました。</p> <p>《質疑応答》</p> <p>【委員】 評価替えに向けて、宅地や雑種地の地価や造成の傾向はどうか？</p> <p>【評価補助員】 宅地は北小学校近くと、ゴダイストア南側に住宅用地造成。地価公示価格、地価調査価格は下落しているが、浦富インター付近、道の駅付近の評価額は上昇となる。雑種地は農地や原野から太陽光発電用地への変更がみられる。</p> <p>(4) その他</p> <p>【評価補助員】 地価公示価格、地価調査価格について説明。 5地点全て下落となっている。 地籍調査実施地域の説明。 昨年中に登記された区域は、新井、河崎、岩常の宅地、陸上の山林の一部。</p> <p>【委員長】 山林が飛び地で実施されているがなぜか？</p> <p>【税務課長】 公共事業用地に係る部分については先行している。</p>	

4. その他

【評価補助員】 家屋の評価替えについて概要説明。

在来の家屋は評価替えにおいて、3年間の減価率と建築物価の上昇率、今回木造は1.04倍、非木造は1.07倍を乗じ、評価額が下がる場合は減価し、上がる場合は据え置きます。

【事務局】 当初、令和2年6月16日に岡山市内で開催予定の固定資産評価審査委員会運営研修会について、コロナ禍により開催未定でしたが、来年1月29日に開催されることとなりました。つきましては、参加するか否か伺います。

【委員全員】 冬季であること及び感染の懸念があるため、この度は参加しないこととする。

5. 閉会